

令和7年度まちななかラウンジ

在宅看・看連携事例検討会②

令和7年度長崎県看護協会県南支部

「地域包括ケアシステム」の充実に 向けた看看連携交流会

研修テーマ

地域包括ケアシステムを深化・推進するための多職種連携
～多職種連携の現状と課題～

研修の目的

患者が在宅（地域）で、その人らしい生活をするための地域包括支援システムにおける医療・介護連携（入退院支援・日常の療養支援等）の課題を見出し、課題解決に向けた多職種連携について話し合う

日 時：令和8年1月24日（土）14:00～16:00

場 所：長崎市医師会館3階自己学習室（長崎市栄町2-22）

研修方法：集合研修による講演とグループワーク

対象者：病院・診療所の医師・看護師・MSW
施設の看護師・介護支援専門員・社会福祉士
訪問看護師、介護支援専門員、社会福祉士
地域包括支援センター職員 等

定 員：50名 参加費無料

研修内容

講 演：①「長崎版地域包括ケアシステムについて」

長崎市福祉部地域包括ケアシステム推進室 係長 高西 真美

②「地域包括支援センターの役割と業務」

長崎市地域包括支援センター連絡協議会 会長 榊 寿恵

③「長崎市包括ケアまちななかラウンジの取組み」

長崎市包括ケアまちななかラウンジ 主幹 宮地 登代子

座 長：長崎市医師会理事 山口内科・循環器内科 院長 山口 達之

グループワーク：連携の課題 特に入退院支援・日常の療養支援について
各々の立場で何ができるか、どう連携するか など



お申し込み：長崎市包括ケアまちななかラウンジで受け付けます

TEL：095-893-6621

Eメール：machinnaka@muse.ocn.ne.jp

または申込URL・二次元バーコードから



長崎県看護協会会員は、県南支部でも申し込みを受け付けます

<https://x.gd/0WTAW>